



議会だより

ここのえ

発行/九重町議会

編集/議会広報特別委員会

平成29年10月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野止8番地の1

☎0973-76-3814 ☎FAX0973-76-3809

✉メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

緑陽の

ちから誇らし

実る秋

No.119 2017.10.17発行

9月定例会

- 平成29年第3回定例会 P.2
- 28年度の決算審査報告 P.6
- 一般質問 7名 P.10
- 常任委員会報告 P.4
- 中学校部活動補助金追加 P.8
- わたしのひとこと P.17

東飯田・上旦 小幡 はるみ^{さん}
南山田・富迫下 足立 相子^{さん}

9月3日 ここのえ緑陽中学校体育祭

平成29年 第3回定例会

本定例会は9月6日から9月25日までの20日間開催されました。
報告2件、議案16件、陳情3件を慎重に審議しました。

平成29年度一般会計補正予算(第3号)

補正前の額	72億13,316千円	
補正額	53,756千円	増額
補正後の額	72億67,072千円	

◆ 補正予算 主な内容 ◆

歳入

- 国庫支出金（社会資本整備総合交付金）…………… △22,515千円
- 減債基金繰入金 ……………… △130,000千円
- 繰越金（平成28年度決算に基づく）…………… 191,535千円

歳出

- 総務費 投資及び出資金 ……………… 20,000千円
100%出資会社出資金
- 農林水産業費 負担金、補助及び交付金 ………………8,250千円
おおいた豊後牛生産向上対策事業補助金
- 土木費 工事請負費 ……………… 16,000千円
道路維持費

補正予算質疑

増田裕子議員

Q 100%出資会社について、4月スタートに向けての予算だが現在提示されている会社の体制や業務計画等について、民間からのスタッフ起用などの提言をうけ、スタート時からの変更も考えられるのか。

A 取締役は民間の人をという意見等、4月は無理と思うが、なるべく早く反映させていきたいと考える。

佐藤博美議員

Q 常勤でなくても取締役は民間を入れるべきでは。

菅原美好議員

Q 1人と言わず、複数非常勤で考えてみて。

A 創生本部で検討する。

佐藤明郎議員

Q 町内にある、放課後児童クラブの内、2施設に対し補助金が増額されているが、それに伴う、支援者などの増員が伴うのではないか。

A 対象児童が増加した施設については現状維持、障がい児の受け入れに対する施設については、増員が必要となる。

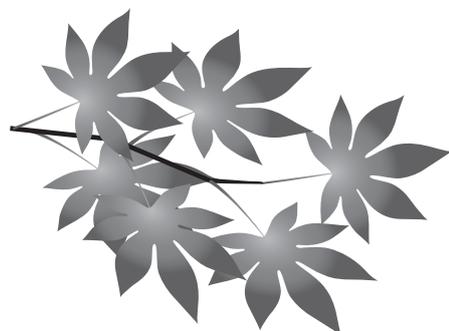
財産取得議案、指定管理者の指定議案を可決

財産取得（老朽化対応）

消防ポンプ自動車（飯田地区団8分団19部）
（株）消防防災より購入 価格2,041万2千円

指定管理者の指定（H29.10.1～H39.3.31）

北区集会所 九重町大字野上525番3
北区集会所関係行政区代表者 小野敏実氏



識見監査委員の佐藤徳幸氏の4年の任期が9月30日をもって満了となることから、同氏を引き続き選任することについて、満場一致で同意しました。



佐藤徳幸さん
川西二

監査委員の選任に
同意

人事案件 1件

町100%出資会社について

会社設立のために補正予算が計上され承認した。
出資金は2,000万円、支援金・創立費として350万3千円
業務開始予定は平成30年4月1日

会社概要

社名：このえまち総合サービス株式会社（仮称）
代表取締役社長1名、取締役2名、監査役1名は全て課長が兼務し非常勤で無報酬。代表取締役社長のみ、平成32年度に民間から起用し、常勤で報酬あり。
1,000株発行し株主は町。取締役会を設置

当面の業務

吊橋・泉水受付 文化センター夜間受付 町道維持 農産物庭先集荷と販売 人材派遣（職業紹介）

審査報告

議案 1 件

陳情 1 件

継続審査 1 件

可決された案件

九重町介護保険条例の一部改正について

「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の施行によつて介護保険法が改正されたことに伴い、介護保険条例の一部を改正するものです。

みなさんからの陳情は、こつなりました。

亀鶴苑の施設運営の安定のための支援を求める陳情書について

平成28年6月に供用開始となった新しい養護老人ホーム亀鶴苑の今後の施設運営に関し、建設当時には玖珠・

九重の両町が負担金として各々1千万円の交付を行ったところではありますが、更なる追加援助としていくばくかの支援を求めているものです。老人福祉法に基づく措置施設である養護老人ホーム亀鶴苑の運営については、民営化の方針に基づき平成19年4月より玖珠郡老人養護組合より社会福祉法人玖珠会に移譲されたところであり、その後施設の老朽化等による建て替えを余儀なくされる状況となったことから、現在地に建て替えざるを得なくなった経過及びそれに起因し建設費用が想定外の増加となったことも影響し、今後の施設運営費用も含めた財源の捻出に苦慮している旨の陳情であり、そのことはある程度理解するところですが、当該法人から町への要望書に基づき履行されるべき旧所在地

の跡地の譲渡の問題、当該法人における介護保険事業等も含めた現在の経営状況の確認等諸問題を詳細に調査し、九重町のみならず玖珠郡全体の住民の福祉の向上において望まれる施設運営の安定性を確保するために公共団体が果たすべき役割については、事業者及び玖珠・九重の両町の関係機関とも協議しながらさらに慎重な審議が必要と判断し「継続審査」としました。



休館中の温泉館「見晴らしの湯」

温泉館「見晴らしの湯」存続、維持に関する陳情書について

4月の施設巡視の後、7月に温泉館の施設および周辺の状況を確認しましたが、浴場部分の腐朽が予想以上に激しく、設計者の見積もりでも現状のままでは公共の用には耐えないことが明らかになりました。現施設をそのまま使用することは不可能であるとの見解から、全面的に改修するか、解体して新築するか、さらには別の方法が可能か等の考察を重ねてきたところであり、今回の委員会において最終的な審議に至った次第です。

その結果としては、町民の福祉と観光の看板施設として、440名の署名者の意図を汲み、規模を小さくしてでも解体・新築して「見晴らしの湯」としての存続を模索すべ

きとの意見も出されましたが、現施設の存続のための全面改修費等が設計者の見積もりで約1億2千万円、その後の管理運営費等が毎年千2百万円から千3百万円程度必要となることが見込まれること、また、現施設を全面改修してまで現在の場所に残すということについては、傾斜地の場所的にも難しいこと等の理由により「見晴らしの湯」の存続は困難であると考へざるを得ないことから、陳情者の町営温泉を求め強い要望については十分理解できることをふまえ、近い将来で町の公共施設整備計画等において何らかの形で温泉利用が可能となるような施設を整備していくことを検討を提言することを条件として、現状ではいたしかたないと判断して「不採択」とすることで意見の一致をみました。

▼温泉館に関する陳情の
委員長報告（不採択）に
対する討論

不採択に

反対討論 佐藤明郎議員

現状施設の断念は理解できるが、陳情の内容に、類似施設の検討も含まれている。この点も含めて不採択を議決してしまえば、報告にある「今後、施設計画も検討する」との内容は矛盾する。委員長報告の趣旨からも、現施設と類似施設の検討を分離して扱うことも可能だと考え、反対討論とする。

不採択に

賛成討論 佐藤博美議員

当施設が設置された当時と社会環境が大きく変わった現実もある。

多額の経費も必要となり町民の理解が得られない。よって賛成討論とする。

会議における採決結果は、「不採択」とすることに賛成議員9名、反対議員3名

総務建設産業常任委員会
審査報告

議案 1件
陳情 2件

可決された案件

九重町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

公営住宅法の一部が改正されたことから所要の改正



町営住宅

を行うものです。具体的には認知症患者等が家賃算定の為の収入申告等を行えない場合、必要な書類の閲覧により、当該入居者の収入を把握し、毎月の家賃を定めることができるようになりました。収入超過者である認知症患者等の家賃の算定方法についても同様の改正を行うものです。

みなさんからの陳情は、こうなりました。

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情書について

平成29年度税制改革大綱において「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため都市、地方を通じて国民に



下刈り作業中の山林

mの区間であり、生活道路として利用している、緊急車両等の進入が出来ない状況にあり、また、関係者以外の住民も農業用道路として利用しており、隣接する地権者の合意を得ていることから、「採択」することで、意見の一致をみました。

等しく負担を求めることを基本とする森林環境税の創設」により、森林、林業、山村対策の抜本的強化をはかるため、陳情の趣旨は理解できることから「採択」として、国の関係機関に対して意見書を提出すること意見の一致をみました。

町道認定を求める陳情書について

大字町田の町道（生竜線）生竜公民館交差点より佐藤常善氏宅までの間、240



町道認定を求める路線

平成28年度 各種会計決算を認定

特別委員会を設置

平成29年第3回九重町議会定例会において、議長及び議選監査委員を除いた中から議員6名により決算審査特別委員会を設置し、一般会計及び特別会計の平成28年度決算分について、9月7日、8日、19日及び20日の4日間にわたり審査を行いました。

今回の決算審査を実施するに当たり、当該予算が議決された際の趣旨と目的に従ってその執行が適正にそして効率的に行われているか、また今後の財産運営においていかにして改善工夫がなされるべきであるかといったことに力点を置きながら、慎重に内容の審査をしました。

委員長が委員会での審査結果を本会議で報告し、報告どおり各種会計決算を認定しました。

平成28年度 会計別決算額の状況

(単位：千円)

会計	区分	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差引額 (C) (A-B)
一般会計		8,069,875	7,508,315	561,560
国民健康保険特別会計		1,738,923	1,709,639	29,284
水道特別会計		279,443	211,418	68,025
飯田高原診療所特別会計		67,774	65,913	1,861
介護保険特別会計		1,491,638	1,422,321	69,318
介護サービス事業特別会計		26,208	26,143	66
後期高齢者医療特別会計		130,986	130,915	71
合計		11,804,847	11,074,663	730,185

- **財政力指数 (3カ年平均) 0.31**
指数が「1」に近いほど財政力がある
- **自主財源比率 38.2%**
- **経常収支比率 87.0%**
この比率が低いほど財政構造に弾力性がある。前年度は85.1%
- **公債費比率 4.7%**
財政力に対する公債費(元利償還額)の負担割合を示す。
本町の指標は13%であり、良好である。

* 端数処理等の関係から、差引額及び合計額の数値については必ずしも一致しません。

一般会計収入未済総額 (滞納金)

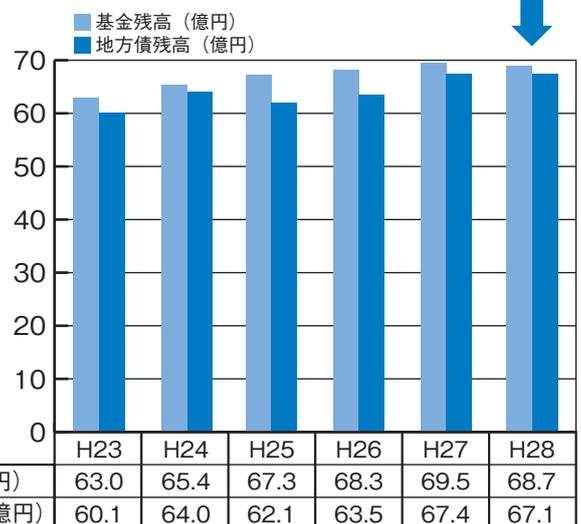
(単位：千円)

税目	27年度末	28年度末	増減
町税	96,573	70,561	△ 26,011
分担金・負担金	1,178	1,033	△ 145
使用料及び手数料	21,244	22,350	1,106
財産収入	4,488	4,068	△ 420
諸収入	64,835	64,374	△ 461
合計	188,317	162,386	△ 25,931

* 端数処理等の関係から、増減額及び合計額の数値については必ずしも一致しません。

普通会計に属する基金残高と地方債残高の推移

平成28年度末
地方債(借金)残高 67億1千万円
基金(貯金)残高 68億7千万円



決算認定に当たっての付帯意見

収入未済について

一般会計では、町税、使用料、負担金、諸収入等の収入未済額の合計は1億6,238万6千円であり、平成27年度分より2,593万1千円減少していますが、収入率については97.70%となっており、平成27年度分より0.04ポイント下がっています。

町税の収入額としては12億4,932万9千円で、前年と比較すると1億1,240万5千円の増収で、町税の収入率については1.04ポイント上がっています。

特別会計全体の収入未済額は平成27年度分より595万7千円減少しており、これらのごとについては、担当課、担当職員が徴収率の向上ために大変な努力をされていることが認められます。

なお、収入未済額の多くは徴収困難なものであることは窺えますが、今後も納税者等の不公平が生じないように、また町の収入確保のために引き続き滞納整理対策の強化に努めていただきたいと思います。

*収入未済とは、税金や給食費などの収入金において納められていないお金のことであり、滞納されている金額を意味します。

不用額について

不用額の大半は、節約や工夫によって生じたものや制度改正等によるもの、また、災害等に備えたものが主流であると思われます。

予算編成にあたっては、必要な予算を厳選して計上し、計上した予算については特別な理由がない限り着実に、また、適正に執行することを要望します。

また、年度途中に制度改正等で不用額になることが確定した場合は、できるだけ早期に減額補正を行い、他の目的に有効利用することを望みます。

*不用額とは、予算額と実際事業に使用した額との差額のことであり、入札の結果や節約・工夫等による残額を意味します。

総合意見

九重町の人口は1万人を割り込んでおり、少子高齢化が急速に進行している中2040年の人口については6,366人と推測されています。この人口減少社会に歯止めをかけるためには、「九重町まち・ひと・しごと総合戦略」の施策に基づき、住民と行政が協働し一体となって取り組むことが必要不可欠であると考えます。また、今後の予算編成においては、経済性や社会情勢、投資効果を見極め、適正な予算執行に努めることを強く望みます。

なお、担当課ヒアリングの際には、百年の杜整備事業、また、人材育成の補助金事業等について委員より厳しい意見が出されました。検討を行う必要のある事項については、適切に対応していただきたいと思います。

今後は国家財政運営も厳しい中、九重町においても財政運営がより一層厳しさを増すことが予想されますが、適切な「選択と集中」を行うことにより生み出される効率的な財政運営を希望し、本特別委員会に付託された案件の審査報告とします。

8月7日、臨時議会を開催

- バークマット作成用のプレス機の導入 18,478,800円
- 中学校スクールバスの更新 …………… 8,744,082円

以上の財産取得 2 議案を可決

このえ緑陽中学校の 部活動の補助金を追加

予算総額を変えず、予備費より
67万2千円を充てました。

7月26日～28日に開催された大分県
中学校体育大会の軟式野球において見
事に勝ち上がり、8月4日から鹿児島
で開催された九州大会に、玖珠郡初の
県代表として出場しました。
必要な旅費として、部活動補助金を
追加しました。



県代表として九州大会出場



7月27日に大分市で「第54回大分県
吹奏楽コンクール」が開催され、見事
に2年連続で金賞を受賞しました。

その結果、県代表として「第13回南
九州小編成吹奏楽コンテスト」の出場
権を獲得しました。

必要な旅費として、野球部同様に、
部活動補助金を追加しました。

緑陽中学校
感動をありがとう

全国町村議会 広報研修会に 参加しました

9月29日、東京で開催
されました「町村議会広
報研修会」に、特別委員
6名で参加しました。

▼ 議会広報とは

議会で何が検討され、
何が、どのように決まっ
たのかを、広く町民に
知っていただくことは、
議会の重要な責任であり
ます。

そのひとつの手法とし
て毎回、議会だよりを発
行しています。この議会
だよりの果す役割は非常
に大きいわけですが、皆
様に読んで頂かねば、発
行の意味がありません。

今回の研修で、優良
な議会だよりを参考
に、具体的に、読み易
い紙面作りを学んだこ
とを、今後の議会だよ
りに活かすことが参加
者の責任だと再認識し
ました。

大分県連続全国第3位 in宮城

牛のオリンピック「第11回全国和牛能力共進会」

九重町の出品者、図りしれぬご苦勞で大貢献

正副議長が
激励と応援へ

全国和牛能力共進会
(宮城大会) に参加して

和牛の日本一を決める「第11回全国和牛能力共進会」が仙台市で開催され、大分県が総合三位でみごとな成績をおさめました。

特に種牛の部で最高賞の内閣総理大臣賞を獲得、肉牛の部でも上位入賞するなど前回大会からの反省を活かして取り組みをして来た

結果と関係者一同に感謝を申し上げたいと思います。
 玖珠郡内からは16頭が出場し、いずれも三位以内入賞を果たされました。
 町内からは飯田・奥郷の森俊幸さん、南山田・陣の内上の佐藤美知雄さん、南山田・木納水の田吹利明さんが大分県代表として出場しました。

皆さんは牛を愛し、妻を愛し二人三脚で取り組んだ結果と言う言葉が印象的でした。大分豊後牛の名声をさらに今後高めていただきたいと思えます。



- 第5区 3席 田吹 利明さん 木納水
- 第6区 3席 森 俊幸さん 奥 郷
- 第7区 3席 佐藤美知雄さん 陣の内上

豆知識

- 第5区とは？ (3産以上の繁殖雌牛群)
改良組合を中心とした集団活動による改良成果の確認と、技術向上を目的とした出品区成雌牛4頭を1群として出品されます。
- 第6区とは？ (生後14ヶ月以上の高等登録群)
母-娘-孫娘に亘る改良の成果の確認と、地域への保留推進と拡大を狙いとした出品区高等登録の母牛と娘牛、および孫娘牛の直系3代にわたる3頭を1群として出品されます。
- 第7区とは？ (種牛群：生後17~24ヶ月未満 肉牛群：生後24ヶ月未満 総合評価群)
種牛と産肉能力を総合評価する出品区で種雄牛の産子を実証展示し、改良成果を確認する出品区道府県の改良方針に基づき計画的に造成された同一種雄牛の産子を種牛(4頭)肉牛(3頭)を合わせて1群として出品されます。

県体議員ソフト

引き分けの末

「クジ引き」で敗退

9月9日に開催された「第70回大分県民体育大会」において、玖珠町との合同チームで議員ソフトの試合に臨みました。

昨年の「優勝」の再現を目指し、初戦の津久見市チームとの対戦は、リードしていた最終回、まさかの同点に追いつかれ、あるうことか「クジ引き」により敗退という残念な結果でした。
 応援していただいた皆様ありがとうございました。



町政を質す 一般質問

7名の議員が質問

『道の駅』必要性の論争を

..... 『道の駅』が町の大きな夢になる
という意見は聞いてない



佐藤 太治

● 玖珠美山高校の補助、助成について

佐藤 バークマットの機械購入は玖珠、九重の共同申請と聞いているが、共同で申請したのならば、共同で運営するのが良いのではないか。玖珠との関係と今後の取り組みは。



玖珠美山高等学校

町長 公営塾は玖珠町、バークマットは九重町との協定書を交わした。公営塾とバークマットの件は、不明確な部分が多いので、両町で会議を重ねる中で、バークマットは九重町でと提案し了解を得たので、互いがそれぞれ費用負担をするということになった。

佐藤 公営塾も玖珠、九重の共同申請なのに、なぜ共同運営をしないのか。九重の学生も多く通っている。

町長 玖珠町単独で始めて、共同で運営するには疑問点が多い。今後も授業料無料など運営していくには多くの問題点があり支援するには町民への説明責任もあるので、玖珠町から回答があれば協議に入っていきたい。



あくまでも両町が同じ助成をすべきでは

● 『道の駅』について

佐藤 『道の駅』は地方創生の核だと思うし、全国1770の自治体があり1117の道の駅がある。まだまだ増えている。なぜ、取り組まないのか。



道の駅

町長 『道の駅』が夢だという意見があるということは、町民との対話の中で聞いたこととはない。各地区で小さな拠点づくりは必要だ。『道の駅』で拠点づくりは厳しいと思っている。

大津留 敏加



「2月末まで通行止め」の飯田高原中村線 冬季通行をどう考えているか

..... 工事発注元に通勤通学など対応を要望

● 県道飯田高原中村線の 冬季通行について

大津留 法面復旧工事のため、来年2月まで全面通行止めとなっている。冬季通行について町はどのように考えているか。

町長 飯田地区住民から要望があり、工事発注元の大分西部森林管理署に通勤通勤など考慮してもらえるようお願いしている。



県道飯田高原中村線の法面復旧工事

● こども園・小学校の 防犯体制について

大津留 こども園、小学校、に警察・消防署・警備会社に通じる非常通報装置や防犯カ

メラは設置されているか。

町長 こども園、小学校に非常通報装置は設置していない。防犯カメラは、こども園に複数設置しているが、小学校には設置していない。防犯カメラは犯罪抑止力の観点から効果があるものと考えられ、大規模改修中の東飯田小学校に防犯カメラを設置。他の5校は、今後の大規模改造や周辺整備などと抱合せた整備を考えている。



みつばこども園の全景

● 行政区の再編の 取組について

大津留 人口減少、高齢化が進む中で、行政区の世帯数の減少と未加入世帯が増えてくる。10年先の協働のまちづくりを進める上で、行政区の

住民基本台帳に基づく人口及び世帯数

市町村	平成19年	平成29年	増減
人口	11,371人	9,804人	-1,567人
65歳以上	3,803人	3,977人	174人
高齢化率	33.44%	40.57%	7.3%
世帯数	3,913世帯	3,898世帯	-15世帯
世帯数(区長取扱)	3,312世帯	3,004世帯	-308世帯
世帯数(直送含)	3,603世帯	3,394世帯	-209世帯

再編が考えられる。平成の市町村大合併は、行政(国)の主導で行われた。町の主導で取り組むことはできないか。

町長 行政区の加入については、自助・共助の考えの基、お互いに協力していく行政組織の説明をし、自治会のチラシを配布し、区長名と電話番号を知らせている。地域の実情に応じた行政区の再編は必要である。各行政区には、様々な事情もあり申し出があれば、十分協議し対応を考える。

● 納税組合の減少

大津留 納税組合が減少し



小規模行政区で助け合いみなさん

ているなかで、徴収率はどうか。

町長 納税組合は平成19年度141組合、本年度113組合の28組合減少している。収納率は、平成24年度91・77%、平成28年度92・94%で、1・17ポイント伸びている。

町内の納税組合数

地区名	平成19年	平成29年	増減
東飯田	42	34	-8
野上	35	29	-6
飯田	28	22	-6
南山田	36	28	-8
合計	141	113	-28

麻生 良典



地域防災計画の早期改定を

……………今年度中に完了させる

● 地域防災計画の早期見直しと改定を

麻生 近年、大地震や集中豪雨を経験している。地域防災計画の見直しと早期改定が必要。災害への備え、被災後の対処は町民の安心材料で移住促進にも有効。

町長 防災計画は、住民の生命や財産を守るために重要で、状況変化に即応させる。今年度中に改定終了。

麻生 近県のまさかの原発事故に伴う放射能災害への備えは。

町長 県は対応しており、県と相談して対処する。

麻生 ボランティアや義援物資の受入時に混乱しない体制や行動マニュアルは。

町長 体制は計画に記載した。チーム編成し対応する。ボランティアは社会福祉協議会で受け入れる。

麻生 役場内や住民への周知徹底は。防災の日の設定、防災訓練、関連マニュアルの作成配布は必要ないか。

町長 計画は役場内で説明し、各課に配布。ハザードマップや避難所等はホームページに掲載。危険箇所は全戸配布。一部の行政区で話し合いや避難訓練を実施した。町の特性を踏まえ、地区に応じた対策を講じる。

麻生 町の中核である役場が被災した時の対応、つまり業務継続計画は。

町長 重要であり、県主催の研修会を受講し、防災計

● 選択と集中は進んでいるか

麻生 施策や事業の縮小や中止は即座にできないため5年10年後の姿として、住民へ事前周知し理解を得ることが必要。対話会を進める中、現在の考えは。

町長 対話はまだ途半ば。多様な想いを聴いている。短・中・長期課題に整理し対応するつもりである。



通りなれてはいるが…

麻生 町出資会社の設立は見方を変えたと選択と集中である。優先度の低い業務は、町出資会社で継続される可能性がある。

● 道徳の教科化で留意点は

麻生 来年度から小学校で道徳が教科となる。授業や評価方法での留意点は。

教育長 道徳に力を入れるため教科となった。自分、他者や集団・社会との関わり、生命・自然の視点でおこなう。講義型ではなく、問題解決的で体験的活動も取り入れ、一つの課題についてよく考え、意見を交わす授業とする。文章による評価を行い児童に対話的に返す。教員への研修や推進教師の設置で、適切に進める。保護者への説明は、来年度の外国語活動の変更と併せて行う。

佐藤 博美



九重町に住みたいが 住む家がないし宅地がない

..... 空き家を有効的に活用していきたい



野上中学校跡地

佐藤 今九重町の一番の課題は人口減問題である。九重町に住みたいが住む家がない、家を建てたいが宅地がないという声を聞く。どう対応するか。

町長 町営住宅については計画的に随時整備を行なっている。

今後は空き家を有効的に活用していきたい。

● 中学校跡地を 宅地として 分譲しては？

佐藤 今町内でも核家族化が進み、町内に宅地がなく町外で家を建てている人が

多いと聞く。中学校跡地を宅地として分譲する事も考える必要があるのではないか。

町長 町内に宅地がないので町外に出ていっている。

宅地分譲の必要性は感じている。野上中学校の場合、取りつけ道路等の整備で、多大な費用がかかる。

地域全体のコンセンサスも必要だが、新たな土地を取得して分譲した方が安くなるのか、費用対効果等を検証しながら今後対応していきたい。

● 亀鶴苑跡地を 温泉付き分譲地 として計画しては

佐藤 亀鶴苑の跡地は玖珠会が町に寄附という話を聞いています。跡地を残土処理で埋め上げ、温泉付きの分譲地とする事で地域の活性化にもなるのではないか。

町長 まだ寄附していただく前だが、玖珠会からの寄附の条件が有効活用してほしいという事なので、今後

町民、地元等の意見を聞き十分議論していきたい。



亀鶴苑跡地

● 建築工事、もっと 地元企業の育成を

佐藤 建築工事の設計金額における、ランク分けの入札制度改革、今回見直しをし、Dランクが2千万未満を3千万未満に引き上げたが、町内では15社の内D級が13社と聞く。町内のほとんどの建築業者が3千万以下の仕事しか入札に参加できない。

地元企業育成のために、もっと大幅の見直しをして

も良いのではないか。
町長 D級は大分県は1千万未満で玖珠町は2千万未満、九重町は今回の改定でかなり突出した状況で、地域内循環をしっかりとやりたいという思いはあるが、当面はこの金額でいきたい。

● 猟友会捕獲班の 九重町一本化を

佐藤 猪や鹿の被害を少なくするためには、猟友会、捕獲班の九重町一本化をすることが必要と考えるが、行政として提案してはどうか。

町長 捕獲班会議の中で各地区の枠を超えてやっていただきたいと、話をして来て。会長と事務局をとおして理解してもらえようように話をしていきたい。

自律推進計画 後期計画の総括と次期計画の策定は

…………… どちらも早急に取り組む



井上 里子

井上 本町は合併せずに単独のまちづくりを推進するために、平成17年度に、自律推進計画が策定された。

計画の実施期間は、前期5年、後期5年の10年間。計画の進捗状況及び見直し状況を議会等に報告しながら、町民に公表していくとなっている。

後期計画の実施期間は27年度で終わっている。その総括はどうなっているのか。

町長 後期計画の総括はまだ提示していない。

今定例会の最終日（9月25日）に議会に報告する。

井上 自律推進計画は、平成24年度からは、第4次総合計画における実施計画に位置づけられている。第4次総合計画の実施期間はあと4年半ある。自律推進計画の実施期間は27年度で終り、今、計画は空白の状態である。次期自律推進計画の策定を急ぐべきである。

町長 自律推進計画は、第4次総合計画の中の本町の

行財政のあるべき姿を示したもので、当然必要と考えている。早急に次期計画を策定する。



● 整備、ウォーキングコースの検討結果は

井上 私は昨年12月定例会での一般質問で、次のような質問をしている。

「健康保持などのために、歩くことを習慣化している高齢者が多くなっている。安全で歩きやすいウォーキングコースを、場所的に良い旧東飯田中学校グラウンド内に整備できないか」

答弁は、「財政的な問題もあるが、しっかり検討する」ということであった。

答弁から9か月になる。検討時期と検討結果は。

教育長 一般質問後、担当課がまず地元の地区協議会に相談した。その後、課が金額等を調査したが結論を出すに至っていない。平成30年度に東飯田ふれあい交流施設の周辺整備を検討する際にウォーキングコース整備の可否も含めて検討する。

井上 「検討する」等の答弁については、答弁後早急に、関係職員等が集中的に、しっかり検討して、3か月後の次期定例会で、検討結果を報告できないか。

町長 今後その方向で取り組んでいきたいが、財政面等で不可能な課題のあるものや、時間がかかるものは、議会とも協議して進めたい。

● ケーブルテレビによる行政情報の充実を

井上 この8月末、ケーブルテレビで行政情報と思え

る放送が始まった。今は、各課の職員が、課の仕事内容や取り組みを5分程度説明していて、これも良いことだと思っているが、今後は、町の主な施策、事業、予算、決算、財産取得などについても、町民に知らせて放送してもらいたい。それが「住民との協働によるまちづくり」に役立つのではないか。

町長 行政情報を重層的に提供して、情報の共有化を図っていくことが大切という提案だと思うので、提言については、できるところから、少しずつでも取り組んでいきたい。

井上 経済的にきびしい世帯への小中学校入学準備金の支給時期は適切か。

教育長 本年度は入学後の7月に準備金を支給したが、来年度から、入学準備に間に合う時期に支給することを決めている。

増田 裕子



町100%出資株式会社 4月からスタートは無理があるのでは

..... 段階的に着実に進める

● 町100%出資株式会社

増田 今年度初めに予算化していない事業をこの9月に補正までして急ぐ理由は。

町長 今年3月までは内部の協議が不足していたが、その後内部コンセンサスが得られ、スタートしようと補正に上げた。

増田 当初「雇用の創出」が大きな目的であったが、「行政運営ののスリム化」と変わってきたのはなぜか。

町長 スリム化と雇用創出は一連の流れ。人口減・過疎化対策に重点を置く。

増田 余力ができて取り組み具体的な施策はあるか。

町長 様々な業務を見直しながら内容を詰め、総体的に議論し事業に充てている。

会社の体制や計画は3ページに詳しく載っていますので、そちらを見てください！

く。前提は民間でできるものは民間で。会社はあくまでも民間の会社なので、利益を追求した業務ができる。同時に町100%出資なので、ある程度公共事業を担ってもらう考えである。

増田 業務内容と計画について、会社経営者やコンサルタントなど役場外の人に意見を求めて作成したか。

町長 先進地を参考に、まち・ひと・しごと創生本部(町三役及び全課長)で行った。

増田 最初から赤字見積りの事業に取り組むのはどうしてか。

町長 高齢化対策は喫緊の課題。シルバー人材活用は

玖珠町で年間700万円程度の赤字の状況だが、3年後からは職員等の有効な配置等で赤字を消していきたい。まず2年間は会社を安定化させる業務を優先し、その後、民間感覚を入れて

業務構成を工夫する。今後県の相談窓口も利用する。

増田 町民の合意は。

町長 7月各地区の区長会、住民説明会、計8回行い、意見は把握した。



旧木の実保育園跡地に開設されている「このえ"夢"ステーション」

● 旧公民館等町有施設跡地利用

増田 計画を進めていく上で地域住民の声はどう受け止め合意形成していくか。

町長 平成23年から有効活用を検討しており、今年策定した計画に基づいて今後の方向性を検討している。

町政を預かる責任として、基本的に町の方針を示し、

住民の理解を得ていく。また必要に応じて方針の見直しも行う。

増田 第4期九重町障がい福祉計画でうたう「障がい者とその家族が、地域社会の中で、誇りと尊厳をもって生活できる障がい福祉のまちづくり」、まさに全住民のめざすものではないかと思うが町長の姿勢は。

町長 この姿勢、方針に関して今後変わることはない。相互の連携は必要で重要な時期にさしかかっているとと思う。

増田 グループホームを町内に建設したいという業者の声もある。町有地等を有効に活用しながら、地域づくりとして取り組むためには町民との丁寧な話し合いが必要ではないか。

町長 住民とのコンセンサスは大事な作業であり、しっかりと進めていきたい。

観光地における 町道、歩道等の環境整備は

..... 事業実施計画段階で協議したい



土井 眞一郎

● 観光地における町道・歩道などの整備について

土井 九重町は観光地の環境整備が遅れている。宿泊客のリピーターを獲得するためには、まず環境整備が必要ではないか。

町長 今回計画されている観光振興計画は、ハード事



九重町消防団特別点検

業に取り組まない、ということではない。環境整備は重要と思われるので、事業実施計画段階で協議したい。

● 消防団員の確保と待遇について

土井 町民を守るべき、重要な役割を担っている消防団員の確保が、難しくなっ



技術を競う操法大会

ている現状がある。団員の確保や待遇について、どのように対応しているのか。

町長 少子、高齢化の中で団員の確保が一段と難しくなっているが、広報を利用した勧誘、団員との連携、地域の皆さんの協力も頂きながら、団員確保に取り組みたい。

待遇改善については、近隣市町村との連携を図りながら、取り組んでいきたい。

● 地区協議会のこれまでの総括と今後の方向性について

土井 地区協議会が設立され、10年経過しようとしている。

これまでの事業を総括しながら、改善すべき要素があれば、対応する必要があるのではないか。

町長 指摘されるとおり、10年経過しているので、総括、検証を、来年度予算編成の前までには、やりたい。

あたしのひとこと

トマトさんありがとう

東飯田 上旦

小幡はるみさん



我が家では毎日トマト入りのジュースで一日の食事が始まります。90歳の母が酢トマトも大好きで、毎食おいしいと喜んで食べています。健康でいられるのはトマトのおかげ。リコピンののおかげと話します。近くに住む叔父が、わが家の農地を利用してトマト作りを始め、それを手伝ううちに私が始める事になりました。苗が成長し花となり、実となり、熟れていく各々の過程で感動があります。ハウスに入り、おはよう〴〵と声をかけて作業開始です。花をつけてくれてありがとう、実になってくれてありがとう、等声をかけながら芽かぎをしたり誘引した

り程よい汗を流します。4月に苗を植えて、7月から収穫が始まります。収穫が始まると休み返上でハウスに通います。〴〵はるみちゃんトマト〴〵おいしいと声をかけていただいたり、〴〵はるみトマト〴〵ですと絵を書いたハガキが届いたり、胸キュンする事もありました。永年の務めを卒業して始めた野菜やトマト作り。草や虫との戦いですが、自然や土との関わりで充実感を味わっています。最近荒廃した農地が目立つようになりました。食べていける、後継者が育つ、そんな農業をと考えながら、農業委員5年目。今年は11人の仲間と協力して自然薯を初めて植えました。どうなるかな？収穫が楽しみです。最後に尊敬する師から頂いた言葉をおくりします。強風でもなく無風でもなく、人様に喜ばれる「そよ風」になれたらいいですね。



趣味の詩吟の仲間とともに

出逢い

南山田 富迫下

足立 相子さん



「できた！」
趣味で作っているカゴバックが出来上がった時、思わず声が出る。
私は三年前前に紙バンドでできているバックを初めて見て一目惚れ！！



作り始めると、どんどん思いつきが進む時があれば、何

度もほどこき、編み直す時もある。作りながら、今度は、こうしてみようと考えると楽しくて仕方ない。

自宅で行っているエステのお仕事を始めた時も一目惚れに近く、今では楽しくてとてもやり甲斐を感じている。

やってみると、そうでもない事やすぐ飽きる事もあるけれど、こんなに楽しいと思える事に出会うには、まず、あの時チャレンジしていなければ始まらない。

さあ、次の楽しい事に出会うために、この秋、何にチャレンジしようかなあ。



傍聴へどうぞ 次回は12月です



**鉾神社 秋の大祭
(後野上)**



**献穀斎田 抜穂の儀
(書曲)**



このえ ふるさと便り 第7便



**飯田中部地区
おたのしみ会**



南山田地区体育大会

議会だよりについてご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集後記

世界柔道選手権が先日ハンガリーであった。女子78キロ級に九重町出身の梅木真美さんが出場し、私も応援に行った。真美さんは2年前の世界選手権に初出場し、みごと金メダルをとり、昨年のオリンピックに出場した。しかし足のけがや、初のオリンピックで本来の力を出せずに、一回戦敗退という屈辱を味わった。今回はその屈辱をバネに、見事に復活して銀メダルを取る事ができた。決勝では惜しくも負けたが、78キロ級での実力は世界のトップレベルである事は証明された。3年後の東京オリンピックでの金メダルをと、期待が膨らむ。

人口1万人弱の小さな町から日本一になり、世界一をめざす梅木真美さんを、町民みんなで応援していきたいと思う。

佐藤 博美



- ・ 広報委員長 佐藤 明郎
- ・ 副委員長 麻生 良典
- ・ 委員 佐藤 博美
- ・ 委員 土井 眞一郎
- ・ 委員 増田 裕子
- ・ 委員 佐藤 太治